

# 民主島根

2023年  
**5.21**  
第1425号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444  
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

## “命を大切にしたい”ナースウェーブ集会 夜勤改善と大幅増員を

### 松江 党県議団はじめ自民、民主の県議も参加



連帯あいさつする尾村県議と大國県議、市議団（松江市）



市民にアピールする看護師、介護職員ら（松江市）

島根県医労連は「看護の日」の12日、JR松江駅前前で医療・介護現場の増員や夜勤改善を求めるナースウェーブ集会を開きました。

森山篤士委員長はあいさつで「過酷な労働条件を改善し、安心安全の医療・介護の実現に向けてみんなで頑張っていこう」と呼びかけました。

日本共産党の尾村利成、大國陽介の両県議、民主県民クラブの白石恵子県議、自民党議員連盟の五百川純寿、田中明美の両県議、県健康福祉部の安食治外部長らが参加し、連帯あいさつ。

尾村県議は「再び白衣を戦場の血で汚さないために、平和と命を守り抜くのが政治の責務で



訴えました。

舟木健治、橋ふみ両市議も参加しました。

### 平和や安保のあり方考える 山口大名誉教授 瀬戸厚氏が講演

山口大学名誉教授の瀬戸厚（こうけつ）氏が「安保3文書批判と命の安全保障政策の提言」―戦争できる国から、戦争する国への転換を阻むために―と題して講演しました。（写真）約300人が耳を傾けました。

実行委員会を代表して岡崎由美子弁護士が「平和憲法が危機を迎えようとしている時、どう対処すべきか考える日とした」とあいさつしました。

瀬戸氏は、安保3文書では中国などを仮想敵国とし、アメリカを指揮官に戦前の「大本営」をつくらうとしていると指



### 憲法記念日宣伝 地方議員を先頭に各地で演説

日本国憲法が施行されて76周年の3日、日本共産党の尾村利成県議、橋ふみ松江市議、岩田剛東部地区委員長は大型商業施設前で憲法を守り生かす決意を述べました。（写真）

尾村県議は、岸田政権がすすめている敵基地攻撃能力保有と大軍拡は歴代政権が建前としてきた「専守防衛」の原則を投げ捨てる憲法違反の暴挙だと厳しく批判。「戦争はしない」「軍隊は持たな

5月臨時県議会が16、17の両日開かれ、各議員の常任委員会への所属が決まりました。

日本共産党の尾村利成県議は「防災地域建設委員会（防災部、土木部、地域振興部、企業局所管）」に、大國陽介県議は「環境厚生委員会（環境生活部、健康福祉部、病院局所管）」に所属することとなりました。

### 【今後の議会日程】

5月23日は、国への重点要望等を協議、審査する全員協議会と常任委員会が開催されます。

また、6月12日に開かれ、7月6日まで開催されます。

党県議団は選挙公約で掲げた島根原発問題や子育て・教育支援の充実―などを取り上げて論戦する予定です。

また、中身も決まらずに軍事予算を拡大するのは「財政民主主義にも反している」と述べ、他国を信頼し、非戦・非武装を世界に訴えることが重要だと訴えました。

集会後、参加者は「憲法9条を守ろう」「戦争しない世界をめざそう」と訴え、会場周辺をパレードしました。

要だと訴えました。

集会後、参加者は「憲法9条を守ろう」「戦争しない世界をめざそう」と訴え、会場周辺をパレードしました。

尾村県議は「平和でこそ一人ひとりの人権を大切にすることができると強調し、「戦争国家づくりにジェンダー平等とは相容れないと訴えました。」

出雲市では大國陽介県議、後藤由美市議が街頭演説。安来、江津の両市などでも地方議員を先頭に宣伝し、「憲法を守り、新たな戦前にさせない」と訴えました。

### 5月臨時会 尾村県議・防災地域建設委員、大國県議・環境厚生委員

と常任委員会が開催されます。

また、6月12日に開かれ、7月6日まで開催されます。

党県議団は選挙公約で掲げた島根原発問題や子育て・教育支援の充実―などを取り上げて論戦する予定です。

日常生活の中で何かと利用する宅配便だが、危機的なトラック運転手不足によって物流が停滞する「2024年問題」が迫っている。

運転手の過酷な労働環境を改善するため、一般企業に導入済みの年960時間の残業上限が、来年4月から適用されるためだ。こうした中、ヤマト運輸は、宅急便の配達を一部区間で「翌日」から「翌々日」に1日遅くすると発表した。「首都圏や新潟県と中国・四国地方の一部との間で配送される荷物」などの配送体制が見直され、これまでは最短で翌日に配達していたが、6月からは「翌々日」の配達となる。運転手の心身を守ることは法の責務であり、長時間労働の是正を急ぐのは当然のことだろう。▼野村総合研究所は、対応をとらなければ人手不足で24年度は全国の荷物の24%が配達できなくなり、30年度には34%になると推計。ネット市場の拡大で01年度に26億個だった宅配取り扱い個数は、21年度は49億個とほぼ倍増した。運転手の月間拘束時間は274時間に上り、これを上回る人が3割以上もいる過酷な状況で荷さばきされている。▼荷物が増え続ける中で、さらにドライバーの仕事を増やしているのが再配達だ。国交省の調査では、1か月で扱う宅配便のうち、1割が再配達になっていることが明らかに。労働力に換算すると、1年間で約6万人のドライバーの労働力に相当するという。▼無人走行車やロボットの普及にはまだ時間がかかる。まずは、配達を依頼する側の私たちが時間指定や即日配達、再配達などをできるだけ減らす努力を始める時ではないだろうか。（遠）

### 鼓動

日常生活の中で何かと利用する宅配便だが、危機的なトラック運転手不足によって物流が停滞する「2024年問題」が迫っている。

運転手の過酷な労働環境を改善するため、一般企業に導入済みの年960時間の残業上限が、来年4月から適用されるためだ。こうした中、ヤマト運輸は、宅急便の配達を一部区間で「翌日」から「翌々日」に1日遅くすると発表した。「首都圏や新潟県と中国・四国地方の一部との間で配送される荷物」などの配送体制が見直され、これまでは最短で翌日に配達していたが、6月からは「翌々日」の配達となる。運転手の心身を守ることは法の責務であり、長時間労働の是正を急ぐのは当然のことだろう。▼野村総合研究所は、対応をとらなければ人手不足で24年度は全国の荷物の24%が配達できなくなり、30年度には34%になると推計。ネット市場の拡大で01年度に26億個だった宅配取り扱い個数は、21年度は49億個とほぼ倍増した。運転手の月間拘束時間は274時間に上り、これを上回る人が3割以上もいる過酷な状況で荷さばきされている。▼荷物が増え続ける中で、さらにドライバーの仕事を増やしているのが再配達だ。国交省の調査では、1か月で扱う宅配便のうち、1割が再配達になっていることが明らかに。労働力に換算すると、1年間で約6万人のドライバーの労働力に相当するという。▼無人走行車やロボットの普及にはまだ時間がかかる。まずは、配達を依頼する側の私たちが時間指定や即日配達、再配達などをできるだけ減らす努力を始める時ではないだろうか。（遠）